



「土筆」といい英語では「Horse tail」「馬の尻尾（しつぽ）」と呼んでいます。まさにツクシを言い表すには的を得ている名です。はかまを取って調理できます。吸い物に入れたり、油で炒め醤油で味をつけ、オカ力を掛けて、ほろ苦い素朴な味。春の一品にいかがですか。

東北関東大震災の大きさに、自然の力の中で人の無力さを知らされました。そしてこんなときこそ、人の優しさを発揮する大切さも学ばれました。被災者の皆様に私たちのできる事を微力でも行い、一日も早い復旧を願っています。また多くの犠牲者の皆様の御冥福をお祈りしています。

～絵本 集めています～

御協力をお願いします

何かできる事は？

藍ちゃんの家ではお手紙と一緒に絵本をお届けしたいと思っています。絵本には大人の心も穏やかにしてくれる力があるといわれています。

直接石巻市に送る予定です。送料等必要なので、現金のカンパもお願いできればうれしいです。



学童より
『春を見つけたよ』
「先生、帰り道つくしがいっぱいあったよ！」
「桜も咲いとる木があったんやよ」
と、学童に帰ってきてすぐ、うれしそうに話してくれました。
「取りに行きたいなあ、先生」「行きたいー！」
ほかほか陽気の日にみんな春を見つけに出かけました。桜、つくし、タンポポ・・・。
「すごいいっぱい！」
「あった、あった」
土手に山ほど出ているつくしを見て、「先生こんな長いのがあるよ」「赤ちゃんつくしやな〜」
「もつと採ってもいい？」と、いっぱいつくしがつまった袋を持ちながら、思い思いに季節を感じ、楽しい時間を過ごしました。



この度の未曾有の震災では、甚大な被害をうけました。この地方でも近い将来例外ではないと思われれます。改めて、地震や津波の恐ろしさを痛感させられました。これを受け、藍ちゃんの家では毎年九月に行っている防災訓練をこの機会に再度見直す事にしました『グラッ』と揺れたら、まず机の下などにもぐり込み身を守り、状況をみて、スタッフの誘導のもと安全な場所へ移動する等、スタッフの役割、連携を話し合いました。避難場所や経路の再確認・AED、担架、非常持ち出し袋の中（飲料水、懐中電灯、電池、ラジオ、救急用品等）の点検を行いました。これらを使わなくて済む事を願っています。



「春のつどい」を終えて
宇治山田高校合唱部 有志の皆様ありがとうございます
恒例の春の集いが、学童部の児童四十名と御家族・地域の方々の参加のもと行われました。
五回目の参加となる合唱部のお兄さんお姉さんは今回も十二名がきてくださいました。すばらしい歌声が会場に響き渡りました。特に昨午子どもたちも一緒に口ずさんでた「ビリーブ」では合唱部の皆さんが子どもたちの中に入ってくださっての合唱となり、感激もひとしおでした。参加していた方から「涙がでた」との声もありました。

相可高校食物調理科 村林先生ありがとうございます

お弁当の販売だけでなく今回は先生の子どもたちに向けたお話もしていただき二名の生徒さんも来ていただきました。

近隣の二つの高校の生徒さんを始め多くの方々に支えられ、学童部の子どもたちの一年の締めくくりに楽しい時間を過ごしました。心より感謝いたしています。皆さんありがとうございます！

春分の日に、「ぼた餅」作りに挑戦しました。
お餅を丸める手つきも慣れたものでいつの間にか、栗・ご飯・あんこ・きな粉と順につけた美味しそうな「ぼた餅」の出来上がりです。「美味しいなあ」と自分で作った「ぼた餅」をほおぼって、「お父さんに食べさせたかった」と話される方や「春が近づいてきたな」と笑顔の方。色々な思いが詰まったひとときでした。

